

【12】12月19日首都圏市民会議報告（治田・澤井）

- (1) 神奈川の萩野谷さんから12月首都圏市民会議以前に首都圏市民会議の解散の提案が有り、12月例会で検討した。萩野谷氏は、無断欠席された。千葉の高橋さん、埼玉の石井さん、東京の澤井さん、私の4人で、検討したが、会は、継続すべきとの結論に達した。この結果を萩野谷さんに連絡し、今後、神奈川は、どうされるのかを聞いて頂く事にした。
- (2) 首都圏市民会議のホームページは、東京の山崎さんの平成維新を実現する都民の会退会に伴い、ホームページのフォーム作成、維持をやって頂いていた望月さんから、関係経費のきれる4月以降は、辞退されるとの強い要請が有り、検討した結果、それを受け入れる事にした。尚、このホームページを維持する方法が、ないので、4月いっぱい閉めることになった。閉めるに当たってのホームページ上のその旨の告示は、行う事にした。
- (3) 首都圏市民会議は、主として、連絡会とし、時に各県が、一致した場合は、一体としての行動をする事があると申し合わせた。

（以上、治田記録メモを原文のまま掲載）

【13】KANプロジェクト特別委員会（小俣委員長）

- (1) 毎日曜16:00-17:00 池袋駅西口にて行っているピラ配りの状況説明と参加要請があった。
- (2) 今後について、本会の独自性ある活動を本部に要請・ピラ内容の改定・配付場所の変更等を検討し、より効果的方向を模索・実行したい。

【14】新ブレイクスルー思考による戦略特別委員会（大谷委員長）

- (1) 会報掲載の、12月号4頁「中間報告」、1月号4・5頁「平成維新実現戦略について」を基に、経過から結果まで詳しい説明があった。
- (2) 今後の進め方について協議したが、時間切れとなり、次回副代表会議で検討することになった。

【15】藤本欣士氏の「新春の集い」の紹介があった。

【次回】第44回運営会議：1999年2月3日（水）
18:30～21:00 新宿リサイクセンター。

「生活者主権の会」の各種活動状況

【A】5区（豊島・練馬）例会議事録（吉井正信）

○1999年1月9日 10:00 12:00 練馬公民館にて。

○出席者：沖山・治田・門叶・秋沢・長妻謙三郎・小野寺・長妻昭・吉井。

- 1. 前回例会の議事録確認後了承された。
- 2. 治田氏より1月7日開催された運営会議の報告があった。本会の名称は「生活者主権の会」に正式に変更された。
- 3. 長妻氏の民主党での公認問題について
長妻昭氏より東京10区の民主党の次期衆議院選挙の公認候補として鮫島氏に決定されたのち、直ちに民主党を離党したとの報告があった。また今後については無所属にて衆議院選挙に臨む予定だが、詳細は1月17日のサポーター会議にて討論したいと述べた。この件に関して門叶氏より、サポーターの意見を聞いてから離党すべきではなかったか、また自分は長妻氏に同調して民主党に入党したが今後も党員として活動していくとの発言があった。そして沖山氏からは、政党政治の現状から見て無所属での出馬は無謀だとの意見があった。長妻氏の父謙三郎氏からも自重して欲しいとの要望が出された。

4. 統一地方選挙について

斎藤しげる・日野かつあき両氏は長妻氏に同調して無所属にて区議員選挙に臨む。藤本きんじ氏は民主党公認にて立候補。3氏ともこの会の推薦を希望しているので、今月中に推薦手続きを済ませて、運営会議に諮る予定。沖山氏は本人の要望により5区のみ推薦とする。

区長選に関して民主党は練馬区長に奥氏、豊島区長に高野氏を推薦したが、当会は自主投票とする。都知事候補には民主党より有力候補が現れることを切に望む。

5. 99年度政府予算案について

商品券の配付等、政策が感じられない予算案で、非常に残念だ。住宅ローン減税や少子化対策にもなる教育費減税等、日本の将来を見据えた予算案を、野党より対案として提出して欲しい。

【B】大前通信購読者拡大特別委員会（江頭清昌）

【大前研一通信・講読会員申込案内】

郵便口座番号：00110-3-709334

振込名称：大前研一通信。 年会費：1万円。

問合せ先：TEL 03-3263-2300 FAX 03-3263-2430

「活動協賛金」ご協力をお願い

平成維新東京の活動をより活発にするため、「活動資金」を募集しています。

多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

記

協力金：1口・2000円（2口以上歓迎!）

郵便口座番号：00120-0-772036

郵便口座名称：維新都民

日本を国民主権の法治国にしよう。
人類の幸福の向上に貢献出来る事を願って活動する

花和グループ



(有)花和ビル

(株)花和

(有)バステルハウス

(有)葉明